



# 静岡県立中央図書館だより

平成 17 年 9 月・10 月

## 平成 17 年度静岡県図書館大会参加者募集中

主催：静岡県教育委員会・静岡県図書館協会・静岡県読書推進運動協議会

10月17日（月）

9:50～15:30

グランシップ

本の貸し借りにとどまらない、新たな図書館サービスが動き出しています。地域社会における「知」を循環させ、情報蓄積と情報発信の拠点としての図書館は何をすべきか、新たな図書館サービスの可能性を探っていきます。

## ◇情勢報告

日本図書館協会事務局長 松岡 要氏

## ◇ライブトーク

『地域の情報ハブとしての図書館』  
～新たな図書館サービスの潮流～

- ・テレビ朝日アナウンサー 川瀬真由美氏
- ・鳥取県自治研修所長 齋藤 明彦氏
- ・慶應義塾大学教授 糸賀 雅児氏

新たな  
図書館  
サービスの  
潮流

- 第1分科会 図書館運営  
利用者と職員のための危機管理
- 第2分科会 ヤングアダルトサービス  
今どきの若者と読書～傾向と対策～
- 第3分科会 子どもと読書  
講師：赤木かん子氏（児童文学評論家）
- 第4分科会 図書館サービス  
市町村合併でどうなったか
- 第5分科会 図書館資料  
マルチメディア時代における図書館資料
- 第6分科会 読書会  
これからの読書会の在り方
- 第7分科会 学校図書館  
手をつなごう！学校図書館と公共図書館
- 第8分科会 大学図書館  
知の宝庫の賢い利用方法

参加  
無料お問い合わせ  
参加申し込み

最寄りの図書館または県立中央図書館へどうぞ。  
電話：054-262-1246  
FAX：054-264-4268  
Mail：mailmaster@tosyokan.pref.shizuoka.jp

8月7日  
日曜日

## 子ども読書フェスティバルが開催されました

静岡県読み聞かせネットワーク主催、静岡県読書推進運動協議会協賛の「子ども読書フェスティバル」が、県立中央図書館を会場に盛大に開催されました。参加者は325名を数え、親子で楽しめる様々なイベントが行われました。



櫻井美紀氏「親子で楽しむストーリーテリング」

## ◇ワークショップと特別企画「せみとり探検隊」

3階展示室などで、手遊びやストーリーテリング、読み聞かせ、大型紙芝居、おもちゃ・マスコットづくりなど様々なワークショップが開かれ、会場はとても温かい雰囲気につつまれていました。

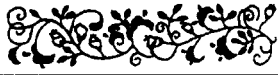
また、自然観察指導員の倉前弘さんのご指導を受けながら、図書館周辺で「せみとり」も行われました。セミだけではなく、色々な昆虫が見つかり、その度に子どもたちの大きな歓声が聞こえました。

## ◇櫻井美紀氏講演会

ストーリーテリングの実演を交えながら行われた講演では、「ことばがいのちと心を育てるのです」という言葉に、参加者の方々から大きな共感が寄せられました。

## ◇県立中央図書館 特別展示

当館が所蔵する大正・昭和期の古い児童雑誌（一部復刻版）及び当館の開館当時の様子を写した写真などが展示されました。



静岡県で、初めてオリンピックに出場した女子選手は誰か。

**【質問】**

静岡県で、初めてオリンピックに出場した女子選手は誰か教えてください。

**【調査】**

当館所蔵資料『静岡県体育史』(S780/10-2)に「国際競技大会活躍の跡」という章がある。この中のp1089、ベルリンオリンピックのところを見ると、「本県より初のオリンピック女子選手は、陸上三井、水泳古田の2選手であった。」と記載されている。

また、当館業務用端末で「静岡県史編さん収集資料管理システム」を用いて、ベルリンオリンピックをキーワードに検索をすると、当時の新聞『静岡新報』昭和11(1936)年6月2日のものに、関連記事が載っていることがわかった。その記事を見ると、静岡県内でのオリンピック出場選手の中に、三井美代子選手、古田つね子選手の名前が載っていることがわかる。

これらの資料から、三井選手は静岡県立沼津高等女学校(現在の静岡県立沼津西高等学校)の出身、古田選手は中泉高等女学校(戦後、旧見付高女と合併して静岡県立磐田北高等学校となった)の出身だということがわかったため、当館で所蔵している各学校誌など新聞以外の資料に、情報が載っているかどうか見てみることにした。

すると、『沼津西高100年史』(S377.1/6) p72～74に、三井美代子選手のインタビューが載せられていた。(このインタビュー記事のタイトルは、旧姓の三井氏ではなく、「ベルリンオリンピック出場の井上美代子さんを訪ねて」となっている。)また、『磐田市史 通史編下巻』(S234/65) p352には、「水泳選手の活躍」という項目の中で、古田つね子選手の活躍について記載があった。

**【回答】**

静岡県で初めてオリンピックに出場した女子選手は、昭和11(1936)年に開かれた第11回ベルリンオリンピックに出場した、陸上80メートル障害の三井美代子選手と、水泳100メートル自由形、400メートルリレーの古田つね子選手である。

①三井美代子選手について

『沼津西高100年史』に載せられているプロフィールによると、三井選手の出生地は東京である。

父の転勤により、引越しを何回か経験し、小学校4年の時に静岡県沼津市に移った。その後、県立沼津高等女学校に進学し、陸上競技で頭角を現すようになり、「日本陸上競技界の至宝」と呼ばれるほどになった。

昭和9(1934)年11月、三井選手は第11回日本女子オリンピック大会で、80メートルハードルと走り高跳びで優勝した。昭和10(1935)年に日本女子体育専門学校に進学した後、第8回明治神宮大会で80メートルハードル、走り高跳びそれぞれに第三位に入賞し、ベルリンオリンピックの候補に選ばれた。その後、昭和11(1936)年5月のオリンピック大会最終予選では、80メートルハードルで優勝を飾り、ベルリンオリンピック出場が決定した。

②古田つね子選手について

古田選手は袖浦村海老島(平成17(2005)年に磐田市と合併した磐田郡竜洋町)の出身である。昭和9(1934)年8月、古田選手は全日本選手権400メートル自由形で、14歳にして優勝を果たした。昭和10(1935)年には第8回明治神宮大会と全日本選手権の100メートル自由形で連続制覇を果たし、このうち全日本選手権では、1分14秒0の日本新記録を樹立した。そして翌年のベルリンオリンピックに出場。『磐田の記録写真集』(S234/109) p165には、同じ大会に出場し、金メダルを獲得した前畑秀子選手との写真が載っている。古田選手はこのベルリンオリンピックで、日本選手団の最年少選手でもあった。

両選手とも結果こそ予選敗退ではあったが、ベルリンオリンピック開催時の女子競技者数は、男子3738人に対し女子328人。女性としては出場するだけでも、いかに貴重なことであったかが伺える。

(仲本由加)

【当館所蔵の参考文献】( )内は請求記号

『オリンピックがよくわかる2』(780.69/ミト)

『磐田市史 通史編下巻』(S234/65)

『磐田の記録写真集』(S234/109)

『静岡県昭和人物誌』(S280/132)

『沼津西高100年史』(S377.1/6)

『創立七十周年記念』(S377.1/6)

『創立80周年記念誌』(S377.1/6-2)

『高女・西高九十年史』(S377.1/6-3)

『季刊/静岡の文化58号』(SZ00/41)

『静岡新報』(SZ07/1)

# 資料紹介

## 子どもたちへのブックトークについて

「子どもと本を結びつける」取り組みは、いろいろな方法がありますが、その1つに「ブックトーク」があります。一般的には、「あるひとつのテーマに沿って、数冊の本を順序良くつないで紹介すること」を意味し、ブックトークを聞いた子どもたちに、紹介された本を手にとってみたい、読んでみたいという気持ちをおこさせることを目的としています。

今回は、当館が所蔵しているブックトークに関する資料のなかから、一部を紹介します。  
(殿岡容子)



No.	タイトル	著者・出版社等	請求記号
	内容紹介		
1	「ブックトーク再考」	学校図書館問題研究会「ブックトークの本」編集委員会／編(教育史料出版会)	017/加
	ブックトークの理論、ブックトークの本番と実践に至るまでの過程や実践者の思いなどを述べている。ブックトークでの語りをそのまま載せたブックトーク・ストーリーもある。ブックトークの対象は、小学校から高等学校まで。		
2	「いつでもブックトーク」	北畑博子／著(連合出版)	019.2/杓
	ブックトークの構想から実践までのポイントを具体的に示す。紹介した本のリストとブックトークのシナリオを掲載。同じ著者で、『どこでもブックトーク』、『ミニブックトークをどうぞ』もある。		
3	「わたしのブックトーク」	京都ブックトークの会／著(連合出版)	019.2/杓
	学校、図書館、児童館等での実施例を中心に、ブックトークの事例を36本紹介。ブックトークの対象は、小学生から大人まで。紹介した本のリストとブックトークのシナリオを掲載。		
4	「はじめてのブックトーク」	蔵元和子／〔ほか〕著(図書館流通センター)	019.2/缶
	初めてブックトークをする人向けの本。49pのブックレットで、具体例にわかりやすく説明。		
5	「ブックトーク12か月」	滋賀県学校図書館協議会中学校部会ブックトーク研究会／編 (全国学校図書館協議会)	019.2/沓
	中学生を対象としたブックトークについての解説と月別のブックトークのシナリオ、ブックリストを掲載。		
6	「ブックトークをやってみよう」	「本の楽しさ宅急便」事業実行委員会／編集・発行	019.5/杓
	小学校中学年と高学年対象のブックトークの実践例をシナリオ付で紹介。『こどもとしょかん 第73号(1997春号)』(東京子ども図書館発行)に掲載の松岡享子著「ブックトークの意義とその効果方法」も掲載。		
7	「子どもの本のリスト」	東京子ども図書館／編集・発行	028.03/ト
	1990年以後に出版された比較的新しい本の中から、絵本、物語、伝記、ノンフィクション等を厳選して掲載。巻末の「件名索引」は、テーマからの本探しにも役立つ。		
8	「図書館の達人 司書実務編 3 ブックトーク」	(紀伊国屋書店)	015/ト
	公立図書館の司書が、小学校へブックトークに行くまでの様子のビデオ。先生との打ち合わせ、候補の本選び、当日の実践の様子など。(ビデオ)		
9	月刊誌「こどもの本」	(日本児童図書出版協会)	Z02/96
	毎号ではないが、テーマ別に、子どもの本を紹介。インターネットサイト「こどもの本 on the Web」( <a href="http://www.kodomo.gr.jp">http://www.kodomo.gr.jp</a> )でも、テーマ別に子どもの本を紹介したものが見られるようになっている。(雑誌)		



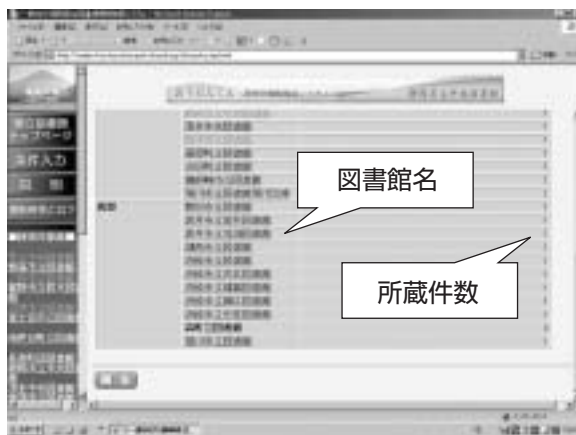
# 県内図書館インフォメーション

## 「探している資料が近くの図書館になかった…」 こんな時、「おうだんくん」をご利用ください

県内蔵書 780 万冊をインターネットで横断検索できるシステムです。

### ◇「おうだんくん」(静岡県横断検索システム)の利用法

- ① インターネットに接続し、検索エンジンで「おうだんくん」を検索します。  
【アドレス】 <http://oudan-kun.tosyokan.pref.shizuoka.jp>
- ② 「おうだんくん」の画面が表示されたら、書名等、必要な情報を入力して「検索」ボタンを押します。
- ③ 「おうだんくん」参加各図書館の所蔵状況が表示(右図)されます。所蔵している任意の図書館名をクリックすると、検索した資料が表示されます。
- ④ 検索した資料名をクリックすると、所蔵している公立図書館のページにジャンプし、書誌情報が表示されますので、その画面を印刷し、利用者カードをお持ちのお近くの公立図書館にお越しください(注1-3)。最長2週間で資料がお申し込みいただいた図書館に届きます(無料)。
- ⑤ ご返却も、貸し出しを受けたお近くの公立図書館にどうぞ。ただし、必ず貸し出し期限内にお願いします(注4)。



【検索した書籍の所蔵館一覧画面】

- ※注1 貸し出し可、在庫、予約無しの場合の貸し出しが可能です。ただし他市町の視聴覚資料(ビデオ・DVD等)は貸し出しできません。  
 ※注2 「おうだんくん」に参加していない公立図書館からでもお申し込みいただけます。  
 ※注3 貸し出し可能冊数、期間等は、図書館によって異なりますので、詳しくはお近くの公立図書館にお問い合わせください。  
 ※注4 期限を過ぎますと、貸し出し館への返却ができなくなります。

静岡県横断検索システム、通称「おうだんくん」の参加館が着実に増えています。平成17年8月現在、本館、分館・分室を合わせ54館、780万冊の資料(図書・雑誌・視聴覚資料等)にアクセスできるようになりました。平成17年度は、8月までに掛川(大須賀分館を含む)、磐田(福田、竜洋、豊田、豊岡分館を含む)、森、浜北が新たに参加し、富士(西、東分館、富士文庫を含む)、伊豆(修善寺、中伊豆、天城、土肥分館を含む)、新居、松崎が本年度中に参加予定です。ご期待ください。

## 県立中央図書館で「草柳大蔵氏取材資料展示」を開催



静岡県立中央図書館2階ロビーにおいて、「草柳大蔵氏取材資料展示」が行われました(8月1日~8月31日)。

県立中央図書館は、平成15年に故草柳大蔵氏のご遺族より、氏の蔵書及び取材メモ等の寄贈を受けました。それを記念し、「草柳大蔵コーナー」を設け、厳選した400冊を閲覧室に配架しています(貸し出し不可)。また、様々な取材メモ等を、毎年1ヶ月程度展示しています。今年は、氏の著書『齋藤隆夫かく戦えり』に関連する取材メモ、取材ノートなど、貴重な資料を展示しました。

### 静岡県立中央図書館の開館日

9、10、11月の開館日							○ 休館日							■ グランシップ県立図書館コーナーの休館日								
9月							10月							11月							【開館時間】 土・日・月・火曜日 午前9時から午後5時まで 水・木・金曜日 午前9時から午後7時まで	
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土		
				1	2	3						1					1	2	③	4		5
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12		
11	12	13	14	15	16	17	9	⑩	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19		
18	⑱	20	21	22	⑳	24	16	⑰	18	19	20	21	22	20	21	22	⑳	24	25	26		
25	26	27	28	29	⑳		23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	⑳					
							30	⑳														

編集・発行 静岡県立中央図書館 〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-1  
 TEL(054) 262-1246・FAX(054) 264-4268 <http://www.tosyokan.pref.shizuoka.jp>

